

令和5年度 西岡北中学校区「小中一貫した教育」グランドデザイン

【西岡北中学校 西岡北小学校 西岡小学校】

【子どもの実態】

・問題行動は少なく、落ち着いた雰囲気の中で生活できている。また、子ども同士や職員、地域の方に対して明るく挨拶することができる。

【地域の実態】

・閑静な住宅街で戸建てが多く、大きな公園、大学、町づくりセンター、図書館などの文化施設があるため落ち着いた町並みが広がっている。
・地域の学校への理解と協力は高い。

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る。

9年間を通した子ども
の学びのつながり

子ども理解・生徒
指導の連続性

推進の
視点

教職員の
連携・協働

家庭や地域との
関わり

「目指す子ども像」

ほほえみあう西岡の子ども ~つたわるあいさつ~

「学ぶ力」の育成

- 子ども中心の「わかる・できる・楽しい」学習活動から、学ぶ意欲の喚起につなげる
- 学び続ける態度の育成を図るため、子どもたちが主体的に学ぶ授業の構築
- 子ども同士の話し合い活動や意見交流、対話型の学習展開
- 授業スタイル(挨拶、目標の提示、振り返り等)の中学校区内での共有化
- 自主性から主体性への転換(自分で考え、判断し、行動する)
- タブレット端末を利用して学習するメリットを理解し活用する
- 「家庭での学習」の習慣化を目指し、学校と家庭の一層の連携・協力を図る
- 校種間の授業参観交流を通して、**授業改善**を図る

「豊かな心」の育成

- 自己肯定感・自己有用感を高める
道徳教育の推進
- 人とのかかわりを深め、その中から社会性を育む指導の推進
- 命を大切にする指導の充実
- 「つたわるあいさつ」の実現へ向け、子どもたちが主体的に取り組む活動の展開

「健やかな体」の育成

- 体力テストで明らかになった課題である「敏捷性」と「持久力」の向上を目指す
- 体幹を鍛えより正しい姿勢でしっかりと挨拶ができる子どもの育成
- タブレット端末を効果的に活用した学習活動の充実
- 小学校での「マット・跳び箱週間」の設定や、体を動かす機会を設ける等子ども自らが進んで運動に取り組める環境の整備を図る
- LGBTQ 多様性を尊重し誰もが自分らしく生きられる社会の一員であることに**気付く**ことができる子どもの育成
- 食育教育の充実

子ども理解を基盤にした生徒指導の充実

- 自己肯定感を核とした子ども理解の充実を図る
- 中学校区共通の課題である「不登校・登校しぶり」の改善に向け子ども理解とパートナー校間の連携強化を図る
- 個に寄り添う指導と、規律や自主性を重視する互いの校種の指導の良さを取り入れた生徒指導の充実
- パートナー校間でできるところの共有と共通化
例)学習規律、校則・ルール、家庭学習、持ち物など
- 保護者と学校が子どもの成長した姿を共有し、その実現に向け協力関係を一層強化する

キャリア教育の充実

- 「何のために学習するのか」よりも優先して、「なりたい自分の将来を考える」機会を9年間かけて行うキャリア教育
- キャリアパスポートなどワークシートの共通化
- キャリアパスポートの精選と活用、更に相互交流へつなげる

【推進の手立て】

①子ども

・自発的、自治的な集団活動の充実を図り、よりよい人間関係や生活を築く力を高める。

②教職員

・小中の違いを共有し、「9分の〇年生」の子どもを育むという意識をもち、学びの積み上げを図る。

③その他

・授業交流(授業参観)
・小6 児童対象の部活動見学と中学校説明会
・児童会と生徒会の交流
・英語科における小中連携授業(リモート)

【推進体制】

① 管理職(学校長)会議

・「小中一貫した教育」の計画・評価、実務担当者会議への指導助言等。

②実務担当者会議

・教頭や教務主任等が実務担当者となり、具体的な取組を企画・運営する。

③その他

・各校の校務分掌とリンクした枠組みを策定し、役割分担を明確に全教職員の参画意識を高め、協働の充実を図る。

【検証の方法】

○成果と課題を明らかにし、グランドデザインの見直しを図る(年度ごとに更新する)。